

# 事故防ぐ「目玉」松山にも

## 函館建設協 安全確保狙い普及促す

「目玉」を貼いたマグネットシートを重機などに貼り、作業現場の注意喚起を図る函館建設業協会の労務安全委員会（中塚徹朗委員長）の取り組みが松山市の土木業者の目に留まり、シート3セットが導入された。作業現場からは、安全意識向上を実感する声があがっており、同

委は道内外で普及拡大を目指す考えだ。目玉シートは、同委が昨年2月に製作し販売。4月末現在、渡島、檜山管内の同協会会員、準会員企業のほか、同社や札幌、旭川の企業、労働基準監督署に計500セットを提供した。同委が行った利用状況アンケート



愛媛県の作業現場にも役立つ目玉シート（ハイスピードコーポレーション提供）

では、作業の安全確保に有効との回答が多く寄せられている。

シートを取り入れたのは「ハイスピードコーポレーション」（堀田誠社長）。住宅の地盤改良を主な事業としており、2、3日を要す工事での安全意識維持に生かせると考え、3月中旬から、所有するバックホーと六輪建柱車、ダンプカーに装着した。

現場の作業員からは早速「目玉に見られている」と意識するようになった」との声があがっている。同社工法管理部の宮原寛幸部長は「危険を察知し、いち早く対処するのに役立つことが分かった」と話し、高知など各支店へのシート導入を検討する。

中塚委員長は「目玉シートへの理解が道外の企業に広がったことは大きな成果だ。事業2年目の今年は普及拡大による業界全体の評価向上につなげたい」と意欲を語っている。（石橋崇）